

地域の図書館に広げる「わいわい文庫」

東京都新宿区立戸山図書館
谷口絵莉子

新宿区立戸山図書館について

当館は、区内の公共図書館における障害者サービスの拠点館として、障害者をはじめとした本をそのままでは利用できない方のためにさまざまなサービスを行っています。録音図書“DAISY”の貸出のほか、対面朗読、家庭配本サービス、どなたでも楽しんでいただける布絵本やマルチメディアDAISY図書の収集もを行っています。

また、ボランティア団体の方々と協力して音声DAISY図書を製作し、より多くの資料を届けるため、テキストデータやテキストDAISY図書も製作。リクエストには積極的にお応えしています。毎年、伊藤忠記念財団よりお送りいただいている「わいわい文庫」マルチメディアDAISY版を蔵書として受け入れ、障害のない方々にも幅広く周知するための工夫を行っています。

今回のねらい

今年は、一般の利用者に広く知ってもらうために、大きく3項目に分けて4つの事例を実施しました。マルチメ

ディアDAISY図書は、公共図書館でも手に取りにくく、地域の学校関係者もなかなか活用に至らない中で、公共図書館としてできることの一つに広報活動があります。家族の方や定期的に利用される団体利用者にも知っていただくため、展示やイベントの拡充によって、地域への理解を促します。

また、図書館関係者の中でもくわしく説明できる人材が不足していることをふまえて、スタッフ研修も実施し、知識の底上げを図りました。

以下に、その内容を報告します。

カウンター前展示の拡充

2019年版を受領して、すぐに常設展示を新しくリニューアルしました。展示用のブックトラック1台とラック、タブレット端末用のスタンドを使い、カウンター前に設置します。入館してすぐに目がつくところに、チラシやDAISY図書を紹介するパンフレットなどを設置。目で見ても、さわって、手に取っていただけるようにしました。すぐに新しいものを発掘したがる子ども

の目を引きつけ、近くの保護者の方にもご紹介しやすい場を作りました。週末には親子で訪れる利用者の方々に実際に操作しながら聞いていただき、中には展示用のスタンドの前から動かさずじっと集中して読んでいる子もあり、この電子図書がどういうものか、操作方法と一緒にふれながら伝えることができました。DAISY関連のチラシは手に入る方々が多く、特に夏休みの時期などはひと月を待たずに刷り増しが必要となるほどでした。

実践事例①カウンター前での展示

期間：通年

内容：「わいわい文庫」ブルー版を導入したタブレット端末の展示。「わいわい文庫」ほか一般に貸出可能なマルチメディアDAISY展示トラック更新。「使ってみよう！マルチメディアDAISY」小冊子を作成・新設ラックにて配布。



図書館スタッフへの研修

新宿区立図書館では、区内の公共図書館全館にマルチメディアDAISY図書を配置し、希望すれば館内のパソコンを使っていつでも体験できるような体制を取っています。しかし、なかなか貸出や問い合わせにつながらず、問い合わせの少なさからスタッフの知識や経験が不足することが考えられたため、マルチメディアDAISY図書の研修を実施しました。

実践事例②：図書館スタッフ向けマルチメディアDAISY研修会

開催日時：2019年1月17日（木）14：30～16：30

参加人数：11名（新宿区立図書館 他地域館の児童担当者など）

機材等：「わいわい文庫」導入済みタブレット・マルチメディアDAISY蔵書リスト・「学習障害」「ディスレクシア」等に関する紹介スライドなど

内容：マルチメディアDAISY図書の使

い方をはじめとして、公共施設において障害児や障害者に対するサービスをどのように展開していくべきか、戸山図書館の事例に照らし合わせながら研修を行いました。「わいわい文庫」のブルー版、マルチメディアDAISY教科書のサンプルなどをスライドに映し、どのように使うのかを説明しました。今回はおもに児童サービス担当に向けたもので、点字絵本や布絵本など、ユニバーサル絵本の収集方法なども合わせて紹介しました。



新宿区内の地域館での「マルチメディアDAISYおはなし会」

戸山図書館では恒例となりました、マルチメディアDAISYおはなし会を年度内に2回実施。さらに研修を活かす

形で、新宿区内の他館への展開を実施しました。

実践事例③戸山図書館におけるマルチメディアDAISYおはなし会

【第1回】開催日時：2019年6月8日
(土) 11:00～12:00

場所：戸山図書館 児童室 おはなし室

参加人数：こども11人 大人4人
計：15人

内容：1回目『海の中をのぞいてみよう 4』、『おにぎり おむすび』、4台のタブレットで一人ずつマルチメディアDAISYを体験／2回目『まさか！2な～んだ』、『ねこじた』、『海の中をのぞいてみよう 6』

マルチメディアDAISY図書を周知するため、図書をプロジェクターで映し、おはなし会を行いました。30分の予定でしたが、終わりかけに来館した男の子から「見たい！」とリクエストがあり、2回目も行いました。「わいわい文庫」ブルー版の2017と2019を再生したところ、魚が好きな子が多く、『海の中をのぞいてみよう』は「カメ大きい」、「クマノミ知ってる！」など年齢問わず好評でした。『おにぎりおむすび』は、中身当てクイズとして盛り上がりました。

タブレットを使用する時間では、読む声のピッチや背景色を変えるなどの

オプションを実際に体験してもらいました。保護者向けの解説やタブレットの体験を加えたことで、マルチメディアDAISY図書をより楽しく知ってもらう機会を提供できたと感じています。



【第2回】開催日時：2019年10月5日
(土) 11：00～12：00
場所：戸山図書館 児童室 おはなし室
参加人数：こども11人 大人4人
計：15人

内容：公益財団法人新宿未来創造財団が管理運営する「戸山生涯学習館」で、年に一度催される「戸山生涯学習会館まつり」に同じ建物にある戸山図書館からも参加する形で、子ども向けのイベントとして企画実施しました。

はじめに、マルチメディアDAISY図書の説明を行い、「わいわい文庫」ブルー版の2015年、2018年から①『てんてん!』、②『ももたろう 短縮版(紙芝居風)』、③(絵本)『ぬけちゃった』の順に実施。

最後に、タブレット端末でのマルチメディアDAISY図書体験を行いました。『てんてん!』は、登場したボールが何のスポーツに使われているかを当てる内容となっています。サッカーなどの身近なスポーツからパラリンピック競技であるボッチャ、ゴールボールなども登場しており、子どもたちも正解を予測して楽しんでいました。絵本『ぬけちゃった』は、パソコンに関連づけて読みました。違いやマルチメディアDAISY図書の良さを感じていただけるよう工夫しました。タブレットでの体験は、読みあげる速さ、声の高さを変えられることが特に楽しかったようです。

実践事例④角筈・下落合図書館における事例

戸山以外の地域館でも実施していた

だけるよう促し、年度内に実施することを企画しました。マルチメディアDAISY図書を広めることを目的として、2020年2月、3月に新宿区立角筈図書館および下落合図書館で開催しました。必要な設備や機器を確認し、マルチメディアDAISY図書について熟知している担当者によるバックアップのもと、おはなし会を楽しみながら活用できるプログラムを組みます。新宿区立角筈図書館は、新宿西口の高層ビルが林立する地域にあり、近くにお勤めの保護者の方、近隣の集合団地や中央公園に遊びに来る方がよく来館されます。児童書コーナーには「おはなしのへや」があり、毎週、子ども向けおはなし会を実施して、訪れる親子に親しまれています。

また、閑静な住宅街にある下落合図書館は、築3年とまだ新しく、隣接の介護施設および育児施設と連携した「介護・高齢者支援」と「子育て支援」に力を入れている施設です。図書館の2階に広く取られた児童書コーナーの中におはなしの部屋があり、こちらも定期的におはなし会が実施されています。おはなしの部屋に電源設備がないことから、会場は一般書架の奥にある多目的室となりますが、区内でも来館者数の多い館内でのポスターやチラシ等で周知し、より多くの方がマルチメディアDAISY図書にふれる機会が増え

ることが期待できます。

上記2館での結果は、2月、3月の報告を受けて各館ごとに内容を掲載する予定です。



今後の展望

戸山図書館で行うだけでなく、ほかの地域館での実施を企画できたことで、マルチメディアDAISY図書の周知がより広く実践的に進められたことは大きな進展だったと思います。タブレット端末も活用し、紙だけによらない情報提供を広く行い、地域における身近な公共図書館の強みを生かしてさまざまな年齢や立場の方へ情報を届けることを考えています。

こうした取り組みを粘り強く継続していくことで、一般の方や家族、当事者に対する包括的な効果が期待できます。障害のある方への情報提供を積極的に行いつつ、マルチメディアDAISYおはなし会を継続し他の館にも呼びかけ、当事者やご家族のもとに必要な本を届ける活動を展開していきます。

また、マルチメディアDAISY図書は市販されているものを含め、まだまだタイトルが少ないため、テキストDAISY図書製作のノウハウを活かし製作をすることも考えなければなりません。将来的に、わいわい文庫をきっかけとして、さまざまな形での読書機会の提供につなげていきたいと考えています。

日本昔話の旅

〈四国〉



愛媛県 道後温泉の鷺石と玉の石



香川県 力蔵さん



高知県 又吾とえんこう



徳島県 青木藤太郎